



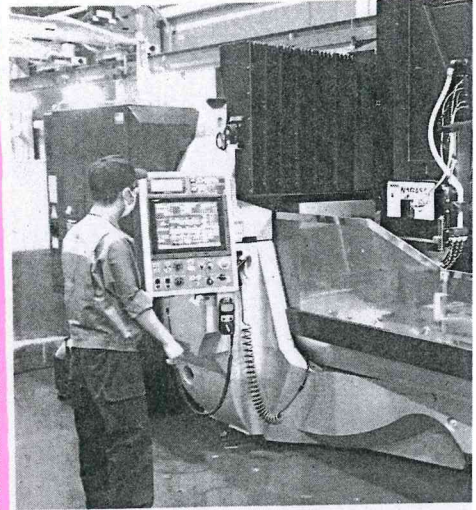
時間休で子育て支援 再雇用に第2退職金

働き続ける仕組み作り

曙機械、企業文化に磨き

【川越】曙機械工業（埼玉県鴻巣市、荒井裕一郎社長）は、働き方改革を加速する。有給休暇を取得しやすい職場づくりや高齢者雇用を推進。主力の抜型裁断機の受注が高機能フィルムや食品トレー向けなどに堅調な中、環境を整備し従業員のモチベーションを高める。同社は14日に創業100周年を迎える。次の100年に向けてダイバーシティー（多様性）経営を推進、価値創造につなげていく。

7月から有給休暇制時などに活用でき、子専務は「家庭生活に自由度を拡充する。従来、育て・介護をしながらポットが当たるように半日1日単位での取得も働きやすい環境をなってきた。有休を取る得を、1時間単位で取得を目指す。また不妊治療しやすい環境をつくる得できるようにする。に特化した有休制度ことで、仕事をしながら通院や保育園・養護施設「ライフプラン休暇」でのストレスを少しでも減らせば良い」とも開始する。荒井伸浩も減らせば良いと



関市、長瀬幸泰社長）は、高級機に近い精度と効率、従来機比半分の省スペースを両立した中型開型平面研削盤「SGX-126」を7月1日に発売する。消費税抜きの価格は5200万円と、普及機

従来比半分の省スペースにした開型平面研削盤「SGX-126」は、工用に年間1台の販売を目指す。機械全体を3点で支える新構造により、工場床面や機械の経年変化の影響を受けにくくした。設計を一新し機械剛性（静剛性）を従来の2倍、振動のしにくさ（動剛性）を同一25倍にした。設置面積は縦450

200mm×幅600mm×高さ100mm。砥石軸モーターの出力を従来機比2倍の15kWとし、最大で直径510mm×幅750mmの砥石で高効率に加工ができる。テーブル（チャック上面）の高さは従来比300mm低い850mm。作業者の足元も

200mmに彩りも加えてポンプ駆動を加速する機能を追加し消費電力を半分にした。同社は超精密のハイエンド機が得意。SGXで普及市場での競争力を高める。SGXは今後シリーズ化し、拡大する高精度研削市場で攻勢をかける。

【京都】島津製作所は、初心者でも使いやすく多様な分析に対応する原子吸光分光光度計（AA）「AA17800シリーズ」を発売した。溶液中の金属元素濃度を測定する装置で、高い汎用性、安全性、操作性が特徴。同社によるとAAの世界市場規模は約200億円で同社のシェアは約15%。新製品拡販を目指す。

消費税抜きの価格は392万円から。AAの最大市場である中国で生産し、国内外で初年度に1250台の販売を目指す。同社によるとAAの世界市場規模は約200億円で同社のシェアは約15%。新製品拡販を目指す。



狙いを話す。高齢者雇用の推進に向け、現在は管理職を

対象にした60歳定年後の再雇用に65歳で再び退職金を支給する。対象にした60歳定年後の再雇用に65歳で再び退職金を支給する。対象にした60歳定年後の再雇用に65歳で再び退職金を支給する。対象にした60歳定年後の再雇用に65歳で再び退職金を支給する。

ライバーと同じ課題だ。験は開発終盤に集中す